

# 基本構想・基本計画の策定にあたって



## 基本構想策定の目的と視点

平成13年(2001年)1月21日、21世紀最初の合併により、新市「西東京市」が誕生しました。本市は、新市建設計画の基本理念である「21世紀を拓き 緑と活気にあふれ 一人ひとりが輝くまち」の実現をめざし、新市建設計画をまちづくりの指針として行政運営を行ってきました。

この間、我が国における社会経済情勢は、大きな変革の時期を迎えています。本市においても、経済情勢が依然として不透明な状況の中、少子高齢化の急速な進展に伴う社会的課題、地球的規模での環境問題、高度情報通信社会の到来など、地方分権の推進とあいまって、市民ニーズの多様化、高度化などへの対応が迫られており、中長期的視野に立った計画的かつ安定的な行政運営を行っていくことが求められています。

このような社会経済情勢の大きな変化に的確に対応し、また、新しいまちづくりを総合的かつ計画的にすすめていくため、新市建設計画との整合性を図りつつ、新たな市民ニーズを踏まえ、西東京市として初めての基本構想を策定し、21世紀の新たな都市像をめざしたまちづくりをすすめていきます。

基本構想は、いわゆる「西東京市のまちづくり羅針盤」であり、わたしたちの望み〔基本理念〕と、その望みをかなえる理想のまち〔将来像〕を定めています。そして、この基本構想の策定にあたっては、まちに暮らす人の目線の重視、一人ひとりがいきいきと輝く環境づくり、自然との共生の実現、さまざまな分野の人々との連携・協働、安定したサービスを提供できる自治体経営などの視点を大切にしながら策定しました。

## この計画をつくるにあたって(計画のフレーム)

<p>目標年次</p>	<p>平成25年度(2013年度)をこの計画の目標とします。</p>
<p>想定人口</p>	<p>平成25年度における想定人口は、おおむね19万2千人とします。 本市の人口は、昭和55年以降一貫して増加してきました。国勢調査データによると、昭和55年(1980年)に158,234人であった人口は、20年後の平成12年(2000年)には180,885人となり、22,651人(14.3%)の増となっています。今後は、増加傾向はやや鈍化し、平成25年の目標年次における人口予測については、おおむね192,000人と推計されています。 〔「西東京市人口推計調査報告書」(平成14年3月)より〕</p>
<p>土地利用について</p>	<p>本市の土地利用用途は、住宅地の割合が非常に高く、今後も住宅を中心としたまちとして、良好な住環境を確保する必要があります。また、住宅地以外にも、駅周辺の商業地や工業集積地など、市の活性化と地域の生活を支えるための発展的な土地利用が求められているところもあります。 人々が暮らしやすい環境を保つため、現在の市街地の特性や将来の望ましい姿を踏まえて、土地利用については、次の2点を基本方針とし、都市計画マスタープランを策定していきます。 <b>(1)地域の特性に応じた土地利用の推進</b> 戸建て住宅や集合住宅を中心とする住宅市街地と、住宅、商業施設、事業所などが混在する複合的な市街地に大別し、土地利用を図ります。 <b>(2)みどりの保全を基調とした土地利用の推進</b> 公園・緑地の整備や生産緑地、農地、屋敷林、樹林地の保全と育成を図り、緑化を促進します。 また、都市計画マスタープランにおいて地域別構想を定め、地域に即したきめ細かなまちづくりをすすめていきます。</p>
<p>まちづくりの課題</p>	

「西東京市総合計画」に基づいた新たなまちづくりが始まります